

ブレーキ調整に関する注意喚起

glafit®

2025 年 11 月 21 日

平素より glafit 製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本ご案内は、glafit の車両（NFR-O1 Lite / NFR-O1 Pro/ NFR-O1 Pro+）をご利用いただいている全てのお客様を対象にご案内しております。

※シェアリング車両 / NFR-O1 Sh 除く

glafit の車両には制動力の高い機械式ディスクブレーキを採用しておりますが、ブレーキディスクやブレーキパッドの摩耗に伴い、調整作業が必要な場合がございます。

◆下記案内にしたがって、お客様の車両をご確認ください。

○印で位置するピンが ブレーキレバーを握っていない状態 で、隠れている場合が NG です



お客様の車両をご確認いただき、ブレーキレバーを握らない状態で『キャリパーアーム』の位置が画像 NG の場合は、早急にブレーキ調整をメンテナンス店へご依頼ください。

※ブレーキ調整は定期的な点検が必要です、OK 位置でも日頃のメンテナンスをお願いいたします。



◀ glafit メンテナンス店はコチラからお調べください。

対応車種 (NFR-O1) を選択⇒メンテナンス対応を選択⇒地域を選択⇒検索する

※作業工賃はメンテナンス店により異なります。

※メンテナンス店にご依頼の際は、必ず事前連絡をお願いいたします。

※本ご案内によるブレーキ調整は保証制度の対象ではございません。

メンテナンス作業を行う事業者様へ

ブレーキ調整に関する注意事項

- ① ブレーキパッドが減り、ブレーキの引きしろが大きくなった場合の調整においてワイヤー固定ボルト部分でワイヤー位置を調整しないでください。
アーム初期位置が下図点線位置にあると、ブレーキが本来の性能を発揮せず制動力が弱くなる恐れがあります。
- ② ブレーキパッド摩耗時の調整はブレーキクリアランス調整ボルト（ブレーキキャリパーの車輪側側面にあるボルト）で調整してください。

◆下図、アーム初期位置にできるだけ近い位置になるようキャリパーアームの位置を調整してください。

